



にこにこサロン 隔週 木曜日 10:30~

◆お住まいの地域関係なく、お気軽にお越しください◆

2026年度年間テーマ:集う・食べる・笑うは元気のもと! にこにこサロン

5月は蒜山に出かけてきました!

◆5月14日(木) 蒜山に行こう! ハーブガーデン散策 & 体験

5月のにこにこサロン「お出かけ」は、蒜山高原に出かけてきました! ハーブガーデンハービルでは、リースやハーバリウムを作る体験に参加したり、庭園を散策したり、眺めの良いテラスでお茶をしたり、それぞれが思い思いに高原での時間を楽しみました。道の駅での昼食や買い物の後、名建築家・隈研吾さんが設計監修し、東京・晴海から移設されたた CLT パビリオン「風の葉」を見学しました。新緑が眩しいお天気の良い春の1日、それぞれが季節を感じる良い思い出づくりができました。



◆6月11日(木) ちまきづくり

恒例となったちまきづくりを行います。笹の葉の爽やかな香りが季節を感じます。美味しいおやつを一緒に作りましょう。



◆6月25日(木) 室内でゲームを楽しもう!

今年度のテーマにふさわしく、集いの中に笑いが渦巻く楽しい時間を過ごしませんか? 室内でのゲームと美味しいご飯で、心と身体をリフレッシュしましょう。

両日とも事前予約不要・参加費200円(昼食代) 会場: はばたき人権文化センター

子ども料理教室 ハンバーガーを作ってみよう!

みんなで作ればきっと美味しい! ハンバーガー屋さん気分と一緒に作りましょう。

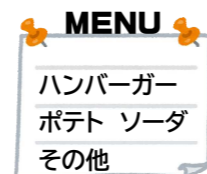


日時: 令和8年6月20日(土)10:00~

場所: はばたき人権文化センター

定員: 15名 申込み締め切り 6月17日(水)まで

親子参加歓迎! ☎22-0232 はばたき人権文化センターまでお申し込みください。



人権が尊重されるまちづくりのために、一緒に活動しましょう。

倉吉市人権教育研究会 2026(令和8)年度 会員を募集しています!

倉吉市人権教育研究会は、差別の現実学びながら「部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消」を目指して研究をすすめ、一人ひとりが「人権尊重のまちづくり」への理解を深め、自分にできることを大切にしながら活動しています。趣旨に賛同される方ならどなたでも加入できます。

= 入会申し込み方法 = 【随時受付中】

会費 1,000円/年 を添えて

はばたき人権文化センターまでお申し込みください。

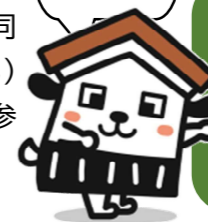
その他 倉吉市人権教育研究会事務局(人権政策課内)、倉吉市人権文化センター、さわやか人権文化センター、あたごふれあい人権文化センター、やまびこ人権文化センターでもお申し込みいただけます。

- ・市民等への人権教育・人権啓発活動
- ・会員対象の講演会、研修会の実施
- ・現地研修会、先進地視察の実施 他

6月は【倉吉市男女共同参画推進月間】です。

倉吉市では、平成9(1997)年に「くらし男女共同参画プラン」を策定し、男女がともに支え合い、それぞれの個性と能力を発揮し、安心して暮らすことができるまちを目指して、継続した取り組みを行ってきました。これまで計画に掲げた目標の他にも新たな働きかけを模索しながら、より一層の男女共同参画社会の実現を目指して、令和8(2026)年度から5年間、「第7次くらし男女共同参画プラン」を策定・実施しています。

大きく4つの基本目標をもとに様々な施策を推進していきます!



基本目標 1 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	基本目標 2 仕事と生活の調和と多様な生き方ができる環境づくり
基本目標 3 女性が活躍できる環境づくり	基本目標 4 男女がともに安心・安全に暮らせるまちづくり

そもそも「男女共同参画社会」って何?

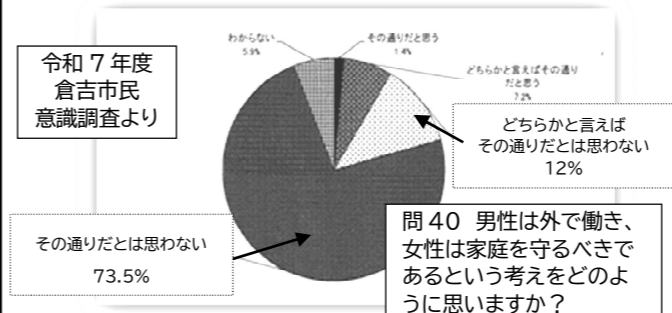
性別に関係なく、すべての人が平等に社会の「対等な」構成員として、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保され、男女が均等に政治的・経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を負うべき社会です。



(男女共同参画社会基本法第2条より)

意識は本当に変えられるの?

共に利益を享受し、共に責任を負うべき社会。それが理想ではありますが、その実現に向けて本当に私たちの意識は変えられるのでしょうか?



この意識調査によると、性別による役割分担を否定する市民は85%を超えています。男女共同参画の考え方が定着してきているように見えますが、実際のところはどのようなのでしょうか。

女性が社会に進出して仕事を持ち、共働き世帯が増えた今でも、「家事・育児は女性の仕事」「学校の対応は母親の役目」「介護は女性の仕事」という周囲の無意識の思い込みや押しつけが、家庭や職場に根強く残っていることで、家事・子育て等と仕事の両立に悩む女性が多いことも事実です。

思い込みにとらわれないで!

誰しも男・女である前に、一人の「人間」です。得意なこともあれば苦手なこともあって、それは人それぞれです。

男だから、女だからと決めつける「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」を払拭し、人としての「思いやり」を持つことから始めてみませんか?

夫婦でも家族でも、職場のチームでも、自分の感情や思い込みで接するだけでなく、一度相手の立場に立って考え歩み寄ってみる、そんな関わり方が意識を変えるきっかけになるかも知れません。お互いを理解し協力し合い、誰もが自分らしく輝ける、誰にとっても暮らしやすいまちをつくらせていきましょう。



倉吉市 第7次くらし男女共同参画プラン

倉吉市ホームページからダウンロードできます。

